



帯広西ロータリークラブ

第2366回例会

会報

2021.11.18



■RI第2500地区スローガン■

ロータリーの素晴らしさを
広めましょう

■クラブ・テーマ■

覧古考新～感謝と恩返し～

会長報告

田中 耕吾 副会長

皆さんこんにちわ。本日、小谷会長不在の為初めての会長報告をさせていただきます。

新型コロナウイルスも一段落してきた今日この頃ですが、第6波がいつ発生するのかと戦々恐々しているところです。我々飲食店関係者に於いては、平日はまだまだ客足が戻らず週末が徐々に増えてきたかなというところです。

さて、新聞やワイドショーの話題に上がっているワクチン接種や検査証明で行動制限を緩和する「ワクチン・検査パッケージ」制度についてお話します。緊急事態宣言下でも飲食店やイベントが人数制限せず営業出来るというもので、飲食店やイベントの利用者に2回のワクチン接種歴か陰性の検査結果の提示を求め、身分証明書による本人確認も行うという制度です。ですから、皆さんはワクチンの接種証明と運転免許証を、1枚の写真にして携帯に持ち歩けば良いのではないかと思います。この制度を利用できる飲食店は、北海道の認証を受けた店であればなりません。その為、正次郎も認証店となるべく本日、北海道の立ち合い調査を受けたところです。

内容は客同士の距離・手指消毒など来店者の感染症予防が8項目、マスク着用など従業員の感染症予防が5項目、換気など施設・設備の衛生管理の徹底が4項目、感染者発生に備えた対処方針が2項目、推奨項目が9項目です。わりと細かく調査されました。後日認定されるのかと思っていましたが、調査後すぐに認証されました。本日より正次郎も認証店になったことをお知らせします。また、ワクチンの接種についてですが、うちの職員の一人が職域接種を申し込む際拒否してワクチン未接種でした。ところが先月、扁桃腺をはらして39.5℃の発熱があり休みますとの連絡を受けました。コロナの可能性もあり保健所に連絡するとコロナではないと思われるけど、まず発熱外来へ行きなさいとの指示があったようです。それで、厚生病院へ行ったようですが受診できず、改めて帯広記念病院にて、抗原検査・インフルエンザの検査を行い陰性が確認され受診できた



ようです。病院難民になりかけあわててワクチン接種をしていました。ネットに踊らされていたようです。やはり、ワクチン接種する・しないにより日常生活にも若干の影響があるようです。信念をもってワクチン接種しないのであれば良いのですが、ネットに踊らされているような人はもう一度ワクチン接種を考えたほうが良いのではないかと思います。周りにそのような人はいないでしょうか。安心出来る普通の生活をする為にワクチン接種を推奨して下さい。以上会長代理報告とさせていただきます。

会務報告

工藤 正宏 幹事

- ①帯広南RC、11月22日(月)の例会は、休会と致します。
帯広東RC、11月23日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。
- ②帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日時 11月25日(木)午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ③帯広西RC、年次総会のご案内
日時 12月2日(木)午後0時30分
場所 北海道ホテル
- ④帯広西RC、年末家族会開催のご案内
日時 12月9日(木)午後6時30分(6時受付)
場所 北海道ホテル
- ⑤各ロータリークラブ年末家族会開催のご案内
 - ・帯広南ロータリークラブ
日時 12月5日(日)午後6時30分
場所 北海道ホテル
 - ・帯広ロータリークラブ
日時 12月8日(水)午後6時
場所 ホテル日航ノースランド帯広
 - ・帯広北ロータリークラブ
日時 12月9日(木)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、12月10日(金)の繰上げ例会と致します。
 - ・帯広東ロータリークラブ
日時 12月14日(火)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広



会長 小谷 典之 副会長 田中 耕吾 会場監理事 天野 清一 発行：広報委員会
幹事 工藤 正宏 副会長 谷脇 正人 プログラム委員理事 立崎 貴之 委員長 郷 誠一 (副)山口 貴可



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

米山功労者及びロータリー財団表彰

米山功労者メジャードナー

大友 広明 会員 (13回目)

小谷 典之 会長 (2回目)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

内海 仁司 会員 (2回目)

菊池 俊博 会員



ニコニコ献金

熊切 宏樹 親睦活動委員

松見 喜明 委員長

本日の例会よろしくお願ひします。

佐藤 聡 会員

チーズの新商品開発の件で勝毎の一面に載せて頂きました。発売の節はご購入宜しくお願ひ致します。

藤本 剛 会員

先週マージャン大会で優勝させて頂きました。来年1月より新規会員を募集しますので皆様のご参加お待ちしております。

平田 宗利 会員

本日卓話させて頂きます。宜しくお願ひ致します。

熊切 宏樹 会員

発表しましたのでニコニコさせて頂きます。



ニコニコ	11月18日	12,000円
献金	累計	275,000円 (11月18日現在)

◇プログラム

松見 喜明 出席委員長



本年度帯広西ロータリークラブは小谷会長のもと50周年の節目を迎えています。そこで出席委員会は「西クラブって何!」というテーマで40代、50代、60代の代表の方に語って頂き今後のクラブ運営及び出席率向上の一助にしたいと思います。

「西クラブって何!」

平田 宗利 会員



僭越ですが、委員長よりご指名頂きまして、なんと2週連続での出番を頂きました。

今回「西ロータリークラブって何」というテーマを頂きまして、タイヤ交換をしながら一生懸命考えてみました。西ロータリークラブといえばやはり活発な同好会活動とイベント等での団結力、とにかく会員の仲が良い、というのは良く耳にするとお思います、まったくその通りだと思ひます。私の勝手な憶測になりますが、同好会活動と会員同士の仲の良さそして結束力は良い形で影響しあっているのではないかとお思います。同好会での活動は例会だけでは作れ無い強い絆と信頼を生み、そしてその絆と信頼が例会の出席につながり、高い出席率はイベント等の団結力になり、更に同好会活動の原動力になって行く、というのが先輩会員が作り上げて来た現在の西ロータリークラブの形ではないかとお思います。という事で新しく入会された方々や入会年度の浅い方々でまだ同好会に参加されていない方は一度参加してみたいか、きつと先輩会員との距離がぐつと縮まると思ひます。

同好会のコマーシャルみたいになってしまいましたので少し方向を変えまして、私にとっての西ロータリークラブというのを考えてみました。私にとって西ロータリークラブというと、どうしても切り離せないのが父の存在になってしまいます。知らない方もいらっしゃると思ひますので少し紹介させて頂きますと、2014-2015年度の会長を務め会長年度が終わった翌月の2015年8月に急逝しました。66

歳でした。在籍は10年程だったと思ひます、私が引き継ぎましたタイヤ販売の会社の創業者で、スピードスケート連盟にも関わっており、仕事とスケートとロータリークラブを三本柱に楽しんでた記憶がございますが、晩年はロータリークラブ1本にしたと、もっと早く入会しとけば良かったとも話していた記憶がございます。私も17年程一緒に仕事をしておりまして、当時はロータリークラブの事は全くわからなかったのですが、利用して下さっている会員の方々には声を掛けて頂いたり、大変お世話になっておりました。そんな事から、私の入会前の西ロータリークラブに対するイメージは正体不明だけど楽し気な団体、それと、あんなにややこしい父と仲良くしてくれる方々が居て本当にありがたい、というのが正直なイメージでした。父が亡くなり、私も入会へとお話を頂いたのですが、当時業界内といひますか、全国のブリヂストンタイヤ販売店の中でも現役の代表の急逝からの事業継承というのが初めてのケースだった事もあり、ブリヂストンの当時の社長とも相談させて頂き、結果、1年は社内体制の安定に専念しその後会社の状態を見て考えるのが良いのではないのでしょうか、という事で1年と半年空けさせて頂きまして2017年1月に入会するはこびとなりました。

入会当初を思い起こしますと、この様な団体に所属した経験が無かったのもあり、暫くの間とてつもなく緊張していた記憶がありますが、西ロータリークラブの特徴の1つだと思ひますが、先輩会員が親身になって色々なアドバイスをくださったり、本当に暖かく声を掛けて頂き、今では楽しく参加させて頂いております。また、先程もありました同好

会、私は銘酒会だけの参加なのですがこちらも入会当初から本当に楽しく参加させて頂いております。入会して間もなく5年になりますが、私は他のクラブの例会等に参加した事が無く体感として比較は出来ませんが、伝え聞く話によりますと西ロータリークラブに所属出来た事はとても幸運だと思っております。

さて、出席委員会の例会なので出席に関するお話を少しだけさせて頂きます。私は自分で言うのもなんですがおそらく出席に関しては悪い方では無いと思います、入会して間もない頃に先輩から、ロータリーは出席する事が基本だから出席は100%と教えて頂き、初めの頃は正直言いますと頑張って出席していましたが、不思議なものでいつの頃からか気がついたら出席するのが当たり前になっておりました。もう一つロータリーの基本として教えて頂いたのが、ロータリーの返事は“はい”と“YES”しか無いとの事で、今回の卓話も面白いお話も皆様のお役に立つ様なお話をする自信もありませんでしたが、即答でお受け致しました。今後の役に立つような話ではなかったかも知れませんが、私の話は以上となります。

鎌田 裕樹 会員



僕が、痛風発作痛みが治まり、何とか参加した典俊会ゴルフコンペの終了後、このおじさんたちの集まりは何だろうと思いつきながら参加した二次会で、故平田パスト会長と小谷現会長に誘われたのが始まりでした。僕は青年会議所といった団体に縁がなく過ごしていたので、何のことも戸惑っていたのですが、まあ、僕もこの地にきて20年になるし、年齢から考えてもそういった活動を始めても良いかと考え、アルコールの勢いもあり思い切ってその場で、「嫁に相談します。」と答えました。で相談すると、嫁さんの父が、熱心なロータリアンで、貴方もそろそろやっても良い年なんじゃないの、とのことで、すんなりと入会が決まりました。痛風発作が治った直後のゴルフ、焼肉、ビールで、翌日からまた足がはれ上がったのは言うまでもありません。入会したのですが、最初はどう動いて良いかわからず、紹介時の入場に皆さんの拍手で迎えられるは、歌はみんなで合唱するは、何かの怪しい団体ですか？という感じで、すごく場違い感を感じながら参加していました。でも皆さん本当に優しく、戸惑っているそぶりを見せるとすぐにいろいろと教えてくれるので、あまり緊張せず出席することが出来ていました。といいまして、先ほどお話ししましたように、私はJCとかに在籍したことがなく、出身も帯広ではありませんので、知っている会員は医師の会員ぐらいしか居ませんでした。まずは顔を覚えてもらうため、出席することを第一としていました。で、その当時のキャッチフレーズが「ゴルフよりもカラオケが上手い。」でありまして、新人歓迎会のときにアカペラで歌ったのを覚えております。ゴルフも優勝させてもらったり、真ん中賞をいただいたり、と「これは私をやめさせないための策略ではないか」と考えるくらい、順調だったのですが、年間優勝を最終戦で松田会員に逆転されて逃

して以来、ゴルフは低迷が続いています。また当時は勉強会がありまして、入会3年以内の会員がロータリーについての講義を受ける機会がありました。外部講師も多くのパストガバナーに来て頂いたり、多くを学ばせていただき、またその後の懇親会で、親睦を深めさせていただいたのも、すんなりと溶け込めた一因になっていると思います。また入会年度の年末家族会で医師会バンド「ムカキーネ2」で内海先生と共に皆さんの前で演奏をさせていただきました、僕のキャラが確定したと思っております。

RCの入会直後は自分の生活の中で、ひとつやるが増えた形で新しく加わるので、その分今までの自分の時間が削られます。面倒だなという思いもあっても当然でしょう。それでも出席を続け、時間が経つと、RCにかかわる時間が生活の中に組み込まれていくので、そのために費やす時間が日常のこととして自然になります。逆に木曜日の外来で話の長い患者さんが来ると焦りだします。ここまですが初期の症状です。次の段階に進行すると、RCにかかわる時間を優先して、これにあわせて生活リズムを作っていくこととなります。このあたりになりますと、余暇の時間もRCの予定にあわせて考えるようになりますので、RCの会員と過ごす時間が必然的に長くなります。役割を頼まれたりすると、面倒だなとか大丈夫かなとか思う前に、引き受けることを前提として、それをどのように果たしていくのかを考えるようになります。私は若い頃から、人生は中年以後のほうが青春時代よりもはるかに長いので、そこからどう楽しむかが、大切だと考えていました。で、親父趣味を覚えておこうと、出来れば極めて、ほめられて、承認要求を満たしたいとの想いから4つの親父趣味に力を入れました。ゴルフ、カラオケ、麻雀です。今思えば、西RCは私に最適なクラブだったと考えています。この原稿を作っていると思ったのですが、このコロナ禍の中、たとえコロナがなかったとしても、僕は西クラブに入っていなかったら、誰とゴルフをし、誰とカラオケに行き、誰と麻雀をしているのだろうか、と考えたとき、愕然としました。これはもう抜けられません。このあたりが現在の私の状態が症状の中期くらいにあたるのかと思います。次の段階に進むとロータリーで自分の役割を果たすというより、自分がロータリーのために何が出来るのかを常に考えるようになります。年間の予定も、まずロータリーありきで組むようになりますし、ゴルフコンペもまずはロータリーが優先されてきます。初対面の人にはこの人物は西RCへの入会を誘えるかどうかを考えながら話すようになります。他にもいろいろな症状があると思いますが、この末期の症状はまだ僕は体験していませんので、多くの人の症状を今度お聞かせ願えれば、診断の基準になると考えています。

医者の世界は非常に狭い社会です。特に私はさまざまな業者との交渉は事務長にやってもらっているので、極端な話では診療さえしていれば、何とかやっていけます。RCに入会すると、会員のかたがみな優秀で、話もうまく、人間関係も幅広く、さすがに社員とその家族の人生を背負って仕事をしている、それだけではなく地域社会全体を背負っている方たちなんだと感心させられています。それで

何か自分が小さく見えてしまい。気が引けてしまうのですが、この場所に居るだけで、私もこの年ですが、少しずつは成長できるんだろうと考えております。今年度の国際ロータリーのテーマはServe to Change Lives 「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」ですが、この「みんな」には誰よりも自分自身が含まれていることを意識しながら、ロータリー活動を行っていきたくて考えています。

越智 孝佳 会員



皆さんこんにちは。出席免除会員ではありますが出席委員会に配属させております。今回も松見委員長より強力に出なさいというお話を頂きましたので「西クラブって何」といテーマで若干お話をさせて頂きたいと思っております。

私にとって西クラブって何というよりも今私が西クラブに感じてるところと言った方がいいかもしれません。私が入会いたしましたのは四十歳の時、当時先輩達にヤングヤングという言葉をかけられていました。実のところ40歳でヤングはないだろうと内心非常に違和感を覚えながら過ごした記憶がございます。時が経ちまして今私は40代のメンバーにはヤングヤングと言っております。いい年になったんだなということを実感もして苦笑いをしてるところでございます。入会の当時を思い出しますとまだチャーターメンバーの先輩方もいらっしやいましたので、実は西クラブの色々な創設期の頃からのお話は直接伺うことができました。先程から仲の良いクラブということでお話が出ておりましたが実はもう本当に最初のところから仲の良いクラブというのは私の耳にも入ってきておりました。実際ロータリーに入る時にロータリークラブに詳しい方から、もし入るんだったら西クラブが良いよと、仲間も良いし雰囲気も良いよという言葉かけられてました。そういう意味では私が入った28年前ですけども、当時から西クラブは良いクラブだという定評はあったと思います。当時の先輩達も非常に目配り気配りそういったものがある先輩たちが多くて色々と気遣いをしてくれてたなと思っております。私も40歳で青年会議所から入ったわけですけども青年会議所を経験してる方であれば若干同調して頂ける部分もあると思いますが、ちょっと跳ね返っている部分があるんですね。じいさんのクラブに入ったみたいなんです。ちょっと物足りないとかそういった気持ちも実のところ若干残ってました。非常に跳ね返りの自分だったと思うんですけども、そういった自分を非常に受け止めてくれていたなといったこともずっと後で気がつくことになるんですけど、この創設期から西クラブというのは仲の良いお互いを認め合うクラブというのが根底にあったんじゃないかと、これもまた後から気が付くんですけども、気が付くきっかけになったのが創立30周年の記念事業部会の部会長を仰せつかりまして1年をかけて色々なプログラム事業を実施させて頂きました。その中で本当に上の年齢の方達10名ぐらいだったんですけど、最初に部会を立ち上げました。その部会の名前がたいまつ部会という名前なんですよ。皆さんピンとくる方は来ると思うんですけどもたいまつ宣言これの

基になっています。その先輩達と触れ合うとかお話をする時間を1年間しっかりと持たさせて頂きました。先ほど言ったようにその時に改めてこのクラブが元々伝統的にお互いを認めて仲の良いクラブなんだなと実感を致しました。

仲の良いというワードがありますけれども、もしかすると仲の良いというのはちょっと薄っぺらく感じるのじゃないかと思っております。例えば他クラブから西クラブ仲が良いよねというのはこれにはいろんな深い幅の意味があるんじゃないかと思うんですけども、その仲の良いという言葉が決して薄っぺらい言葉でなくて仲が良くなければ何も成立しないんですね。仲が良いから何かが積み上がっていくとそれは改めてその後も含めてこの28年間の在籍の中で感じさせて頂いたことです。先週、鈴木会員が私はB級会員だからと言っておりましたが、鈴木会員がB級なら私はC級です。出席率も実はこれは言っただけいけなかなと思ったんですけども、実は会長になった会員のそれまでの出席率ワースト1だと思っております。ですから私はC級会員ということになるかと思うんですけども、その後にそのレコードは抜かれていくわけなんですけれども、それともう一つ私レコード持っていて、十勝の歴代で一番若い会長というレコードも持っていました。それがなんと翌年私の大好きな深澤くんに抜かれました。ですから今は無冠の王者という風になっております。色々な意味でたくさん経験させて頂きましたし感じさせてもらって今もおります。決して出席率は良くないんですけども、ただB級とC級が会長をすることができますので皆さんも勇気を持って会長にエントリーをしてもらえればと思います。今の西クラブを見ていますと非常に仲の良さそれに限らず、例えば企画力でその企画したものを実行する、形にする実現力・団結力はますます磨きがかかっていると思います。過去がダメということではなくて更に磨きがかかっていると思います。今のクラブをこの雰囲気皆さんで作り上げてきたものですから、更に磨きをかけて頂きたいと思っております。

今年は50周年の年度であり来年からは100年に向けての折り返しということになります。100周年というのちょっと気の長い話ですので、私も生きていけば見届けたいと思うんですけど、いかんせん118歳ぐらいで予定では102歳まで生きる予定はしてるんですけどもちょっと届きませんから100周年は諦めて、来年再来年10年後20年後この辺りは現役として眺めてみたいなと思っております。ただ皆さん今も作り続けてると思いますけれども、やはり油断はできないと思います。光が当たる所は磨きをかければかけるほどピカピカに光ると思うんですけども、光が当たるところには必ず裏には影ができます。影の部分もちゃんと見れるような気配り目配りそういったものを持つような会員がたくさんいれば100年後も間違いなくこのクラブは十勝ナンバーワンということになるかと思っております。それに向けてぜひ皆さん一緒に頑張りましょう。